

# 全小学校で太陽光発電 学校の電気を学校でつくろう

武蔵野市は環境基本計画に定める「エコシティむさしの」の実現を目指し、公共施設に太陽光発電の設備を設置するとともに、家庭や事業所でも太陽光発電や省エネへの取り組みを広める



支援をしています。学校への太陽光発電設備の設置は環境教育にも役立つことから、すでに市内のすべての公立小学校で整備されています。



1校あたりの年間の総発電量は約30,000～36,000kW(基本設置容量30kW)となり、校内で使用する電気の1～2割を供給できています。今後も漸次設置を進め公共施設の発電量を高めていく予定です。

# 身近な生きものを調査 武蔵野市生きもののマップ

武蔵野市では、市内の動植物の今を知ろうと、平成22年度に、「武蔵野市生物生息状況調査」を実施しました。調査に先立ち市民のみなさんから生きもの目撃情報をホームページ等で募集し、その中から、専門家の意見も参考として、アズマヒキガエルやアブラコウモリなど調査の対象となる66種類の動植物を選びました。調査は公募で集まった市民調査員と専門家が3回にわたって市内各地で実施し、その結果をもとに「武蔵野市生きものマップ」を作成し配布しました。市民が身近な生きものに目を向けるきっかけとして活用されています。



カレガモ



クサノオウ



カラスザンショウ



(左)コナラ(右)クヌギ

# 水害に強いまちへ 武蔵野市の水害対策

近ごろ、都市部では局地的な豪雨が多くなっています。武蔵野市では、小中学校の校庭に大型の雨水貯留浸透施設を設置しているほか、私有地では雨水浸透ますと雨水貯留タンクを設置する費用を助成しています。雨水対策をとおして、地下水の涵養や水害に強いまちづくりを進めています。

